

三					二			一				問題
五	四	三	二	一	三	二	一	四	三	二	一	
(例) 「私」を一つのスケールとして質問を を広げ考えていく方法が、違う体験 の中に共鳴する場所を発見して、相 手に対する理解と興味を深められる のでよい。	ウ	エ	イ	明るく	エ	おもしろき	なお	イ	ア	3 忠告 4 耕	1 輸送 2 功績 3 しき 4 あお	1 けいさい 2 にゆうわ
	5	5	3	4	3	4	3	3	各 2			
20					10			20				